

ジャケツイバラ

[木本] 《忌避》



偶数羽状複葉。



花序は上向きに立つ。



茎と葉柄の刺。

区別のポイント

枝先の長さ 20 ~ 30 cm の総状花序に黄色い 5 弁の花をつける。上側の 1 花弁に赤い筋がある。茎や葉柄・葉軸に刺がある。

形態 つる性の落葉低木。林縁や河原を覆う。

分布 本州（山形県・福島県以南）・四国・九州・沖縄

名前の由来 蛇が結ばれてとぐろを巻いているようなイバラという意味。

葉 **〈全体〉** 2 回偶数羽状複葉、3 ~ 8 対の羽片にそれぞれ 5 ~ 12 対の小葉が付く。小葉は長さ 1 ~ 2.5 cm の楕円形。

〈付き方〉 互生。

〈葉柄〉 短い。 **〈基部〉** 小葉の基部は円形。

〈葉先〉 小葉の先は円形。

〈縁〉 全縁。

備考 鋭いトゲ（物理的防衛種）がある。

出典 1